

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成22年度 技術情報第9号（水稻海外飛来性害虫）について（送付）

水稻海外飛来性害虫の今後の防除対策について、下記のとおりまとめましたので送付します。

平成22年度 技術情報第9号

1 対象病害虫 セジロウンカ，トビイロウンカ，コブノメイガ

2 対象作物 普通期水稻

3 飛来及び発生状況

- (1) 7月13日現在の予察灯などへのウンカ類，コブノメイガの誘殺および捕獲量は表1のとおりで，主な飛来月日は6月21～26日，7月3～9日である。
- (2) 7月1～7日の巡回調査での発生ほ場率は，セジロウンカが100%（平成65%），トビイロウンカが1%（平成6%），コブノメイガが61%（平成31%）である。
- (3) コブノメイガは，7月上旬の発生面積率が平成10年以降で最も高く（図1），今後，被害が予想されるので，必要に応じて防除を行う。
- (4) トビイロウンカの初期密度は低いと見られるが，今後の増殖が予想される。

4 防除の考え方

- (1) 本年は海外飛来性害虫の各飛来波の幅が広く，明瞭な飛来ピークが捉えにくいですが，今後の防除対策を考える上で，予察灯等への誘殺状況から，防除適期を下記のとおりとした。
- (2) トビイロウンカに対する防除適期（粉剤・液剤・粒剤等による防除）
 - 6月22日飛来虫：8月6～12日頃（第2世代幼虫）
 - 7月6日飛来虫：7月23～29日頃（第1世代幼虫）及び，8月18～24日頃（第2世代幼虫）
- (2) コブノメイガに対する防除
 - 発蛾最盛日の予測
 - 6月22日飛来虫：7月23日頃（第1世代成虫）と8月20日頃（第2世代成虫）
 - 7月6日飛来虫：8月4日頃（第1世代成虫）
 - 防除適期
 - 粒剤：発蛾最盛日にほ場に水を溜めてから散布する。
 - 粉剤・液剤等：発蛾最盛日の7～10日後に散布する。

予察灯等のデータは防除所ホームページ<http://www.jpnp.ne.jp/kagoshima>に掲載中。

表1 予察灯等による誘殺，捕獲状況（鹿児島県農業開発総合センター内：南さつま市 金峰町）

月日	セジロウンカ		トビイロウンカ		コブノメイガ
	水田60W電灯	大型吸引トラップ	水田60W電灯	大型吸引トラップ	ブルーライト
6/11	0	0	0	0	0
6/12	0	0	0	0	0
6/13	1	0	0	0	0
6/14	1	0	0	0	0
6/15	1	3	0	0	0
6/16	2	2	0	0	0
6/17	26	10	0	0	0
6/18	6	30	0	2	4
6/19	31	29	0	1	2
6/20	14	16	0	0	0
6/21	65	15	0	0	8
6/22	273	31	2	0	9
6/23	161	9	0	0	5
6/24	47	1	1	0	5
6/25	35	1	0	0	8
6/26	2	2	0	0	22
6/27	6	0	0	0	10
6/28	1	1	0	0	0
6/29	2	0	0	0	1
6/30	8	4	0	0	1
7/1	11	2	0	0	2
7/2	2	8	0	0	0
7/3	17	96	0	0	0
7/4	0	62	0	0	1
7/5	145	20	0	0	1
7/6	115	14	0	0	3
7/7	29	2	0	0	1
7/8	15	13	0	0	6
7/9	156	22	9	0	2
7/10	4	4	0	0	3
7/11	1	6	0	0	4
7/12	9	1	3	0	0
7/13	52	1	2	0	0

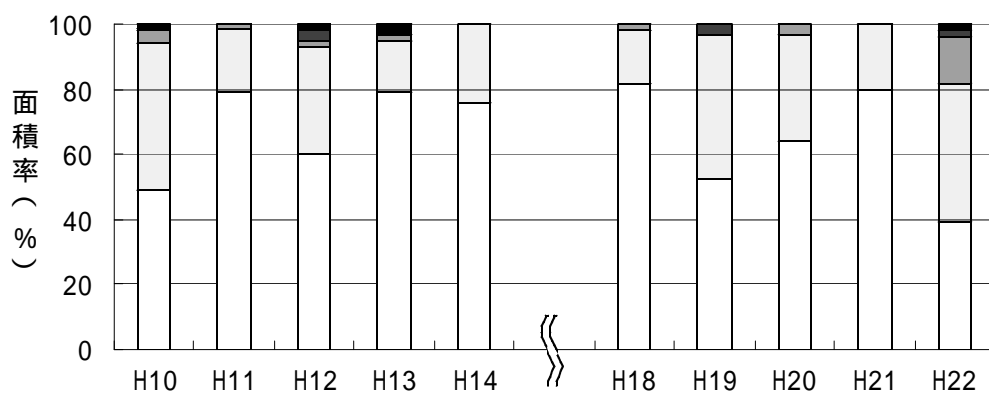


図1 7月上旬でのコブノメイガの発生程度別面積率

H15～H17は未調査

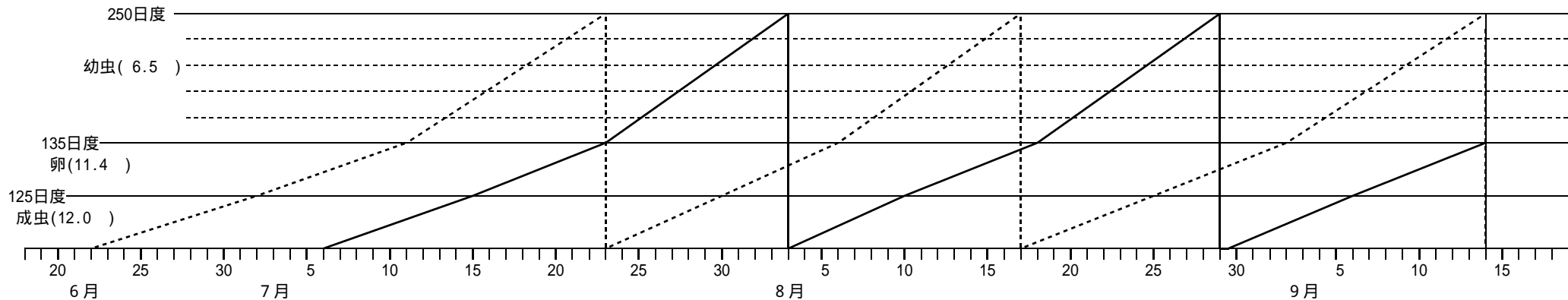
□無 □少 ■中 ■多 ■甚

1. 海外飛来性害虫の有効積算温度による発生経過予測図（鹿児島地方气象台：鹿児島のデータを使用）

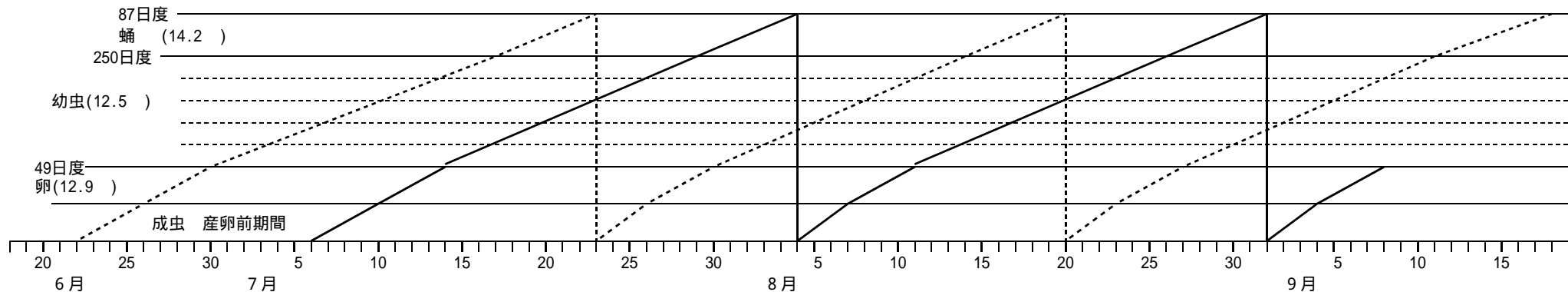
2010年7月13日 作成

鹿児島県病害虫防除所

1. トビイロウンカ



2. コブノメイガ



(注) 気温の低い地域では予測より2～4日程度遅くなる。

